

コロナ禍を克服し、次のステージへ 「SDGs未来都市こまき」(内閣府選定)

尾張地域初

こどもが夢を育み、高齢者が安心して暮らせる、
持続可能な、魅力と活力あふれる夢ある小牧の実現へ

山下しずおは、市長就任以来「改革と創造の市政」「チャレンジする市政」に全力を傾注してきました。本格的な高齢化・人口減少時代の到来、高度情報化の進展など時代の変化を捉え、小牧市の将来にビジョンを描き、地域の諸課題の解決に向けて矢継ぎ早に施策を展開し、積極果敢に挑戦してきました。

3期目は、コロナ禍に見舞われる中、市民の安全を最優先に、感染拡大防止と、地域経済・市民生活の安定に最善を尽くしてきました。今後は、コロナ禍で傷ついた地域を回復し、小牧市をしっかりと次のステージへと進めていかななくてはなりません。

高齢化へ対応すべく、健康づくりや高齢者福祉の充実、支え合いの地域づくりなど“高齢者の元気を支え合いのチカラへ”と「活力ある高齢社会」の実現に取り組むとともに、産業振興や地域活性化、子育て支援のさらなる充実などに懸命に取り組み、“住みたいまち、住み続けたいまちへ”と「魅力と活力ある小牧」づくりに引き続き邁進してまいります。

選ばれるまち小牧へ。すべての市民が暮らしやすい、魅力と活力あふれる小牧の実現へ。
市民の皆様とともに！——山下しずおの未来への挑戦はさらに続きます。



小牧生まれの小牧育ち

昭和50(1975)年生まれ
小牧小学校 ▶ 小牧中学校
▶ 県立旭丘高校 ▶ 立命館大学政策科学部
愛知県議会議員(2期)
小牧市長(3期目)

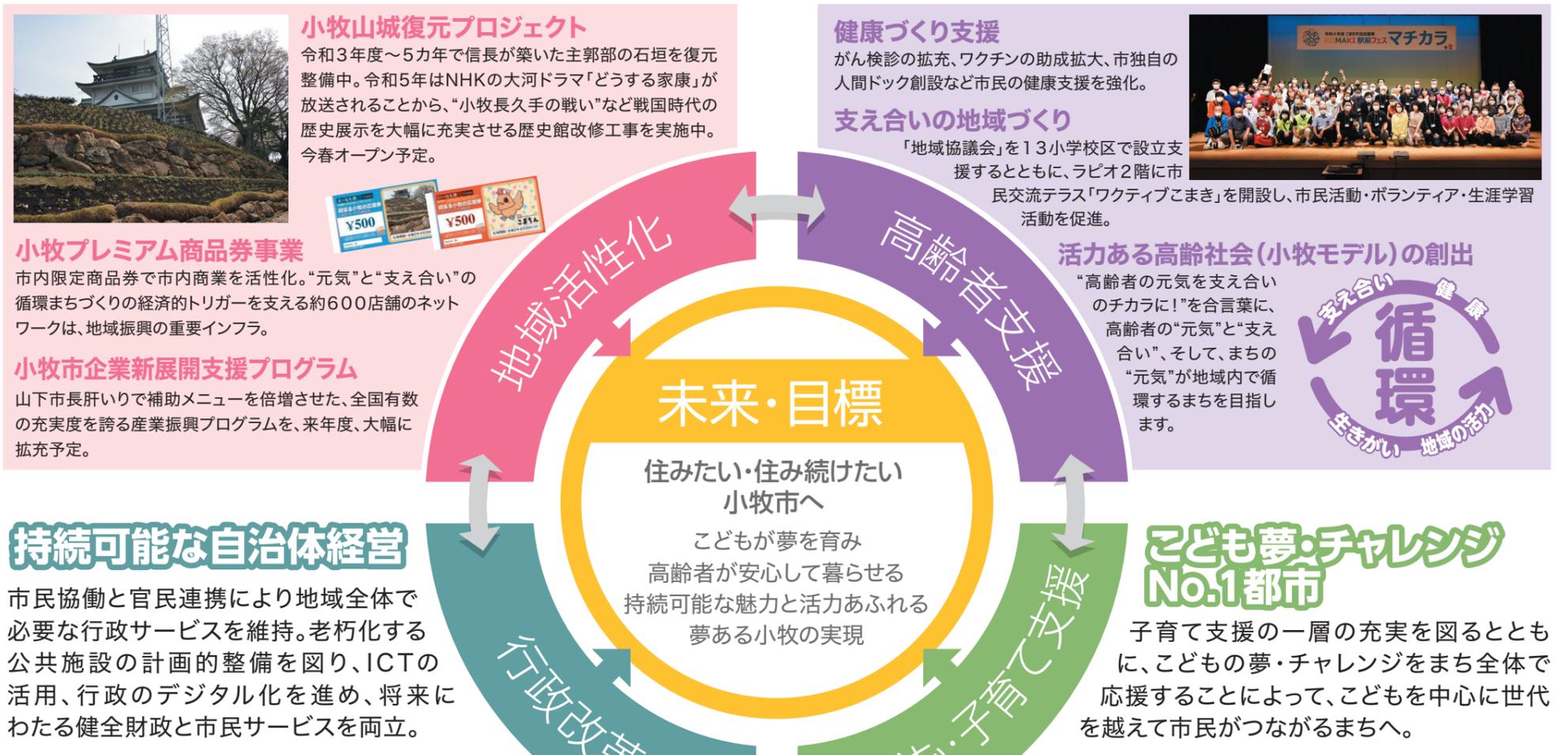
現在47歳

魅力・活力創造都市

企業誘致、企業の新事業展開支援、市内消費の拡大、中心市街地や東部地域のまちづくりの推進で、魅力と活力あふれる小牧を創造します。誘客・定住促進へ、都市ブランド戦略も強力に展開中。

健康・支え合い循環都市

誰もが安心して心豊かに暮らせる地域を目指して、医療・介護・福祉の連携を図るとともに、市民の健康づくりを応援し、地域の見守りや支え合い活動の活性化に取り組みます。障がい者の活躍支援も推進します。



小牧山城復元プロジェクト
令和3年度～5カ年で信長が築いた主郭部の石垣を復元整備中。令和5年はNHKの大河ドラマ「どうする家康」が放送されることから、“小牧長久手の戦い”など戦国時代の歴史展示を大幅に充実させる歴史館改修工事を実施中。今春オープン予定。

小牧プレミアム商品券事業
市内限定商品券で市内商業を活性化。“元気”と“支え合い”の循環まちづくりの経済的トリガーを支える約600店舗のネットワークは、地域振興の重要インフラ。

小牧市企業新展開支援プログラム
山下市長肝いりで補助メニューを倍増させた、全国有数の充実度を誇る産業振興プログラムを、来年度、大幅に拡充予定。

持続可能な自治体経営

市民協働と官民連携により地域全体で必要な行政サービスを維持。老朽化する公共施設の計画的整備を図り、ICTの活用、行政のデジタル化を進め、将来にわたる健全財政と市民サービスを両立。

ICTの活用による行政改革

「まちレポこまき」や「コンシェルジュ」など、最新技術によるデジタル化、オンライン化で市民サービスを向上。1月からは公共施設の新しいオンライン予約システムも稼働し、より便利に。「書かずに簡単らくらく窓口」の導入や、亡くなられた際の手続きをワンストップ窓口で対応する「おくやみコーナー」も開設。市役所休日窓口も毎週日曜日オープン。

全国屈指の健全財政を堅持

山下市長は、市長就任以来、市債残高を100億円以上削減。市債残高の2倍の基金を持つのは、小牧市を含め県内3市のみ。上下水道料金は県下で2番目に安く、介護保険料は県下で最も安い。

全国でも、12番目
(1,571保険者中)の安さ!
※全国平均6,014円

水道料金・下水道使用料 愛知県38市順位

1位	I 市	8,480
2位	小牧市	8,780
3位	K 市	9,240
4位	A 市	9,636
5位	I 市	9,640
36位	K 市	14,454
37位	T 市	14,740
38位	S 市	14,982

令和4年3月時点(単位:円)

介護保険基準額(月額) 愛知県44保険者順位

1位	小牧市	4,309
2位	O 町	4,596
3位	M 市	4,600
4位	C 市	4,650
5位	F 市	4,711
42位	Y 市	6,050
43位	T 村	6,350
44位	N 市	6,642

第8期(令和3～5年度)保険料(単位:円)

こまきこども未来大学

内閣府に選定された尾張地域唯一の“SDGs未来都市”として、企業、市民団体等と連携し、「こまきこども未来大学」を開校。

こどもの貧困対策、経済支援を大幅拡充

無料学習塾「駒来塾」や「大学進学助成金」「海外留学奨学金」等を創設し、こどもの格差対策に注力。市独自の私学助成は県内トップ。高校生までの医療費を無料化、第3子以降の小中学校給食費の無償化を実現。



令和4年9月30日、山下市長は、首相官邸で岸田総理に「人口戦略(少子化対策)」について提言しました。

急激な人口減少によって子や孫の世代が受ける社会的負担の大きさは計り知れず、国が明確な“人口戦略”を描き、国難としての“少子化”に歯止めをかける必要があること、子育て家庭への支援については、我が国は教育費への公的支出割合が少なく家計負担が大きいことから、教育・子育ての経済的負担は社会全体で負担することを基本的な考え方とすることを強く提言しました。



小牧市長選挙の投票日は、2月5日(日)です。

期日前投票のご案内

1月30日(月)～2月4日(土)8:30～20:00
市役所東庁舎、上水道管理センター、味岡市民センター、北里市民センター